

【令和5年度 第1回大山町総合教育会議】 議事録

日時 : 令和5年5月24日(水) 午後3時30分～
場所 : 名和公民館 第1会議室
大山町長 : 竹口大紀
教育長 : 鷲見寛幸
出席委員 : 池嶋順子、髙山洋美、山本健一、向陽寛孝、
欠席委員 : なし
その他の出席者 : 教育次長(赤路)、幼児・学校教育課長(源光)、社会教育課長(徳永)、
幼児・学校教育課 担当者(中井)

参観人 : 4人

教育長

ただいまより総合教育会議を行います。竹口町長より挨拶をお願いします。

町長

第1回総合教育会議を始めます。今、大山町は合併して約15年経過していますが、旧小学校地区単位で地域自主組織を立ち上げて取り組んでもらっています。今後の大山町の地域づくりを進めていく上で、公民館と地域との連携の進め方について考えています。教育委員会部局が公民館を管轄しなくても、町長部局で管轄しても良いのではないかと考えています。全体的な社会情勢も加味した中で今は法律も変わってきていますし、今後の公民館の在り方や地域づくりの在り方を整理していきたいと考えています。その上で、役場の事務を担う組織の体制が、どういう形であれば地域の皆さんがスムーズに地域づくりを前に進めていけるのかというところで機構改革を考えているところです。皆さんから忌憚のないご意見をいただきたいと思います。宜しくお願いします。

教育長

今日の議題は、社会教育と「まちづくり」を一体的に進める機構改革についてです。主に公民館の在り方について協議をしていただきたいと思います。現在、公民館は「まちづくり」と一緒に行事をしているものが多くみられますが、今は企画課が「まちづくり」の、公民館は教育委員会の管轄になっています。公民館は町民の学びの場であり、健康増進、交流の場です。公民館の機能は多岐にわたっておりますが、この機能を住民の皆さんのためにより良いものにするためには、どうしたらよいのかが一番の大きな論点になると思います。忌憚のないご意見をいただきますよう宜しくお願い致します。では、

社会教育課長より現在の公民館の状況について説明をお願いします。

社会教育課長

各公民館の職員体制、関係する地域自主組織、各公民館職員の自主組織への会議等の参加について、公民館と地域自主組織のかかわりについて、公民館職員の意見を資料に記載しております。昨日、公民館運営審議会の委員会があり、公民館と地域自主組織の在り方について委員さんから意見をいただくようにしております。

教育長

ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

委員

公民館が教育委員会事務局から町長部局に管轄が変わることによって、どういうことが大きく変わるのか教えてください。

町長

社会教育課長から説明があったのは公民館と「まちづくり」の一体化についての情報ですが、これは先々のことです。もっと手前の話で、一つの部署でやるのがいいのか、分かれてやったほうがいいのかの話です。現在、公民館は教育委員会の管轄で地域自主組織は町長部局で、意思決定のプロセスが違います。先々の理想の形を含めて考えますと、一つの意思決定のもとでやっていくほうがスムーズに話が進むということもありますし、全体の調整がし易くなることが大きいポイントかなと思っています。人口減少、地域の衰退の問題から、地域づくりを進めることが少しでも早く進めていけると各地域のためにもなると思います。意思決定は早く、調整もうまく進められる形でいくほうがいいのではないかということで、公民館の機能部分を町長部局にしてはどうかと考えています。

委員

今の説明でメリットは感じられましたが、デメリットとして考えられることはありますか。

町長

組織の機構改革で直接的に町民の方へのデメリットはないと思います。先々の公民館と自主組織の在り方を変えていく場合にデメリットがあるかもしれませんが、そこは具体的な話が出たときに、どうゆう調整が必要かだと思いますが、その調整を一つの部局でしたほうが結果的に良い調整ができるのではないかと思います。

委員

私としては、身近な公民館を使えたほうが良いと思いますが、資源には限りがありますので、大山町全体を調整して、より良い大山町になって欲しいと思いますが、町長はどういう考えでおられるのか教えていただけたらと思います。

町長

公民館の建て替えの問題もありますが、公民館の在り方を考えたときに、大山地区の分館を集約したほうがいいのか、名和、中山地区も分館を作ったほうがいいのかの議論をしっかりとからの話になると思います。その時に公民館の在り方と地域づくりの在り方を一つの部署で進めていくことで、大山町内全体にとって良い形になるのではないかと考えています。決して公民館を無くす等ではなく、むしろ公民館の地域性を出して機能強化をすることができないかと考えているところです。

委員

公民館が建て替えの時期になってくるとと思いますが、どのくらいの規模が本当に必要なのか、今は地域自主組織が中心としてやっていることもありますが、地域自主組織の建物も老朽化してきています。

町長

どれだけの規模の公共施設が必要なのか議論の一つになっています。公民館が地域の拠点のような規模でということでしたら、旧小学校地区ごとに公民館があってもいいのではないかという意見もあると思います。地域づくりの観点からすると公民館はコミュニティセンターになります。機能としては生涯学習や社会教育、地域スポーツも当然ありますが、地域づくりはそれだけではなく、福祉、健康づくり等、役場のような分野が必要だと思います。地域自主組織だけではなく行政も入っていかないといけないと思いますが、全地区に役場の支所をつくるのは難しいので、地域の核になっていただいていた公民館が存在するほうが地域としては力を発揮できるのではないかと思います。大山町としてやっていきたい方向としましては、社会教育的だけの公民館ではなく、まちづくり全体の機能としての公民館の拠点機能というものを位置付けていきたいと思います。

委員

公民館職員の意見をみると、自主組織は自主組織、公民館は公民館で支援や連携をするのは良いが、極力干渉を避けるべきという認識で動いておられるのかなと思いましたが、町としてバックアップしていきたいということであれば、公民館側のニーズを上手に組み入れた形で動かしていかないと、今、せっかく築いておられるものが崩れてしまうこ

とが危惧されると思います。寄り合える場所としての公民館と、機能としての公民館を使い分けながら役割分担していく導きを町として上手にサポートしていただきたいと思います。

町長

理想の形までの導きは丁寧にしていかないといけないと思っています。どういう形になるかは今後の議論になると思います。その前段として、事務を受け持って進めていく役場の部署が、一つの部署がやり易いのか、別々の部署でも同じことができるのかが、最初のステップだと考えています。米子市では一部の地区で公民館を市長部局が管轄して地域づくりを行なっていますし、全国的にはそういった自治体も増えてきています。

委員

機構改革により町民へのデメリットがないことは分かりましたが、教育委員会でもっていた社会教育が変わることのないようにしていただきたいと思います。

町長

生涯学習や文化やスポーツは教育委員会で担っていただくものだと思っています。ソフトの部分は形が決まってくれば連携もできると思っています。社会教育課全部を町長部局に取り入れるのではなく、地域のまちづくりの核になるものは何なのかということ吟味した上で、そこだけを町長部局に移して進めていきたいと思っています。公民館の部局が変わることによって、生涯学習、社会教育、スポーツ等が上手くいかないことがないように危惧していきたいと思っています。

委員

公民館運営委員さんには、この話をこれからされますか。

社会教育課長

各公民から選出していただいて全体で15名の公民館運営審議会委員さんがおられます。委員さんには、先日の審議会でご提案をいただきましたが、今後、個別でお話をいただくこともあろうかと思います。各公民から出ていただいていますので、公民館運営審議会でご全大会をしてその後、各地区の公民館に分かれて、委員さん方で協議していただいております状況であります。

教育長

今までの公民館のイメージは建物、場所というイメージでしたが、公民館の機能が時代と共に多岐に広がってきています。いろいろな部署が事務を受け持つより、一つの部署

で受け持ったほうが理想の形に向かっていけるのではないかと思います。今日の会では皆様方のご意見をいただきました。公民館運営審議会委員さんの意見も集約されてきますので、次回の教育委員会で更に話を進めていきたいと思っています。

町長

内部的には、最終的に条例改革が必要になりますので、たたき台になる示しができればと思います。

委員

大山町の将来を見据えながら具体的な機構改革の提案をしていただけたらと思います。

委員

職員の方も町民の方も多いので、職員の方が機構改革によって不満が出たり無理が出たりということがなければいいと思います。

教育長

今後の方向性としましては、公民館運営審議会の意見も踏まえて協議を行い、町長部局からも方向性を示していただくという流れでよろしいでしょうか。

町長

内部協議をしながら進めていきます。

教育長

本日の会議は以上で終わります。お忙しい中ありがとうございました。